

プレスリリース

「持続可能な」バイオマス認証制度が森林破壊を容認していることが、新たなレポートで明らかに

世界最大のバイオマス認証団体が、クリーンエネルギーを装って森林破壊と温室効果ガス排出量の増加を許容している。

2025 年 7 月 31 日（ソウル、東京、ロンドン）ー本日発表された新しい国際報告書は、世界中の森林がエネルギー目的で伐採・燃焼されており、「持続可能」と誤って表示されていると警告しています。世界最大のバイオマス認証団体である「サステナブル・バイオマス・プログラム（SBP）」は、木材が[石炭よりも多くの二酸化炭素を排出する](#)という科学的事実にもかかわらず、森林破壊に関連する木材を気候に優しい燃料として承認しています。

各国政府が森林バイオマスは低炭素で持続可能であるという誤った主張に基づき数十億ドルの補助金を提供する中、世界中の電力会社はエネルギー目的で木質ペレットを燃焼させています。イギリスにある世界最大のバイオマス発電所「ドラックス発電所」で燃焼される木材は、[アメリカ](#)と[カナダ](#)で確認されている環境への悪影響にもかかわらず、ほぼ **100%SBP** 認証を取得しています。

レポート「[「持続可能なバイオマスプログラム：持続不可能なものを認証する」](#)は、**SBP** が破壊的な伐採を可能にし、炭素排出量の多いバイオマスをグリーンウォッシュしていることを明らかにしました。これにより、エネルギー企業が「グリーンになっている（脱炭素に向かっている）」と主張することを可能にしています。ヨーロッパで使われる産業用木質ペレットの **85%以上**が **SBP** 認証を受けています。

森林政策の専門家であるリチャード・ロバートソン氏が執筆し、カナダ・ブリティッシュコロンビア大学の森林学部講師ピーター・ウッド博士がレビューを行ったこの報告書は、**SBP** が自然、気候、コミュニティの保護に常に失敗していることを明らかにしています。

このレポートは、イギリス、日本、韓国（木質ペレットの輸入上位 3 カ国）の環境団体の共同により、各国で続く森林バイオマスへの支援に対する批判が高まる中で発表されました。各国政府は支援の縮小を開始しています。イギリスはドラックス発電所への補助金を半減し、日本は新規の大規模バイオマス発電所への支援を終了し、韓国は主要なインセンティブを段階的に廃止する見込みです。しかし、森林バイオマスへは依然と

して大きな補助金が与えられ、国家の気候戦略の核心を成しており、風力や太陽光発電等の真にクリーンな再生可能エネルギーへの公的資金の配分が阻害されています。

カナダ・ブリティッシュコロンビア州とアルバータ州のケーススタディは、これら各国の政策の欠陥が原生林や老齢林の伐採につながり、その木材が **SBP** の下で「持続可能な」と認証される仕組みを明らかにしています。

レポートで指摘された主要な問題点

- **森林監査の実施なし**：SBP は現地訪問を行わずに木質ペレット工場を認証しており、書類審査に依存し、最も悪い森林管理を回避することを目的とした緩いリスクベースの仕組み（FSC/PEFC 管理木材など）を使用しています。これは、森林の持続可能性を評価するものではありません。
- **炭素排出の無視**：SBP はバイオマスの燃焼時の排出を無視しており、企業が森林炭素の即時の損失を、数十年かかる可能性のある長期的な回復で相殺することを許可しています。
- **原生林の伐採を容認**：SBP は、生息地の劣化や高い炭素排出にもかかわらず、原生林や老齢林の伐採に由来する木材を許容しています。
- **（先住民族の）同意なし**：SBP は、先住民コミュニティが自らの森林の伐採に反対する権利を侵害しています。

共同発行団体による、各国政府に対する要請

- 森林バイオマスへの補助金廃止と、再生可能エネルギーやグリーンファイナンスの枠組みからの除外。
- 原生林および未開発の森林地域（Intact Forest Landscapes）からの調達禁止。
- バイオマスの燃焼による排出を、国内および EU のエネルギー・炭素価格政策において化石燃料の排出と同等に扱うこと。
- 木材貿易全体において、環境と人権への影響に関するデューデリジェンスの義務化。

コメント

リチャード・ロバートソン氏（森林認証・ガバナンスの専門家：カナダ）

「私たちの分析によると、SBP 認証は、自らの低い持続可能性基準さえも満たしていないことが明らかになっています。政策立案者は、森林バイオマスの燃焼を気候変動対策として正当化するためにこの認証を利用することをやめるべきです。各国政府は、SBP のような弱い認証制度から脱却し、森林を燃料としてではなく、気候と生物多様性を守る重要な存在として推進すべき時が来ています。EU、英国、そして現在は日本

と韓国も、森林の持続可能性の証として SBP に依存することをやめ、グローバルな気候と生物多様性に関する公約に沿って、再生可能エネルギー政策の対象からバイオマスを除外すべきです。」

アルムス・エアンスティン氏 (Biofuelwatch 研究員・キャンペナー：イギリス)

「SBP は、極めて破壊的な産業をグリーンウォッシュする以外に実用的な目的を果たしていません。この制度は、ペレット製造企業やエネルギー企業が、カナダ西部の老齢林や原生林の皆伐、マレーシアの熱帯雨林の伐採や泥炭地の排水と関連する木材コンセッション、世界的な生物多様性ホットスポットの重要な一部を構成する米国南東部の沿岸広葉樹林から木材を調達していても、『持続可能だ』と主張することを可能にしています。」

飯沼佐代子氏 (地球・人間環境フォーラム 研究員：日本)

「日本政府は、バイオマス発電の燃料の基準において SBP を持続可能性の証明として認めており、これらの木質ペレットを燃焼する発電所が補助金を得られるようになっています。しかし、このレポートは、SBP が未認証の木材の混合を許可し、原生林由来の原材料の使用を認め、パリ協定の目標達成に必要な緊急の温室効果ガス削減を無視していることを示しています。バイオマスエネルギーが温室効果ガス排出量を増大させ、森林の生物多様性を損なうという明確な証拠にもかかわらず、SBP は単に『持続可能』と表現しているのです。このレポートが、高炭素でエネルギー効率が低いバイオマス発電に対する公的支援の削減に貢献することを願います。」

ハンセ・ソン氏 (Solutions for Our Climate 森林・土地利用プログラム担当：韓国)

「過去 20 年間、先進国は再生可能エネルギーの補助金を、森林バイオマスという誤ったの解決策につぎ込んできました。まさに今、最もそれを必要としているタイミングで、世界の最後の残された森林を燃やしているのです。バイオマスへの依存は、森林の劣化、エネルギー転換の遅延、排出量の増加を招きます。アジアの新興経済国はこれらの過ちを繰り返してはなりません。このレポートは、大規模な『持続可能なバイオマス』はといったものが存在しないことを明確に示しました。各国政府は業界の気候政策を乗っ取ろうとする試みに抵抗し、今年の国際気候交渉 (COP30) に向けて真の進展を示す必要があります。」

マット・ウィリアムズ氏 (Natural Resources Defense Council シニア森林アドボケイト：グローバル)

「SBP は、バイオマス業界が自ら設けた制度で、バイオエネルギー企業が自らの行動を自己評価する以外の何物でもありません。イギリスでは、発電所で木を燃やすことが

地球に良いことではないことはわかっています。世界最大のバイオマス発電所であるヨークシャーのドラックス発電所を見ればわかります。世界の森林を燃やすことは、どのようなラベルを付けても持続可能ではありません。地球の肺を伐採することは、二酸化炭素の吸収を妨げ、気候変動を悪化させます。森林バイオマスを持続可能と呼ぶことは、数十億ドル規模の気候変動詐欺と言えます。」

ロジャー・スミス (Mighty Earth 日本ディレクター：グローバル)

「先住民族は、森林の最も優れた保護者であり、私たちは、急速に温暖化する世界を冷やす炭素吸収源として、森林に依存しています。しかし SBP は、それらのコミュニティが自分たちの土地の伐採に反対する権利をほとんど無視しています。SBP はまた、木質ペレット生産が米国南東部の貧困層の黒人コミュニティに与える影響と、彼らがペレット工場からの大気汚染により深刻な健康問題に直面している現状も無視しています。SBP の不十分なアプローチは人々を見捨てているに等しく、森林を破壊し、カーボンニュートラルではないバイオマス産業を支えています。それは『炭素の悪夢』なのです。」

ペグ・パット (Biomass Action Network、EPN International コーディネーター：グローバル)

「SBP 認証が提示する『隠れ蓑』は、もやは、大規模なバイオマスを実際の暴露から守ることはできません。政府とエネルギー小売業者は、木質バイオマスのサプライチェーンの気候変動への影響、自然資本の破壊、人権尊重といった懸念が現実のものであり、彼らがこれまで熱心に信じてきたこの疑わしい認証によって都合よく無視できるものではないことを認識し、行動を起こす必要があります。」

「バイオマス」とは何か？

バイオマスエネルギーとは、木材などの有機物を燃焼させて生み出される電気や熱を指します。再生可能エネルギーとして推進されていますが、科学者たちは、木材の燃焼により、単位エネルギー当たりで石炭より多くの二酸化炭素 (CO₂) が排出され、本来大気中の CO₂ を吸収するはずの森林を破壊すると警告しています。現在、COP30 を前に各国が新たな気候目標を策定する中で、バイオマスは世界の気候変動と生物多様性の目標達成を阻害しています。

Solutions for Our Climate (SFOC) は、地球規模の温室効果ガス排出削減とエネルギー転換を加速させることを目的とした独立した非営利組織です。SFOC は、研究、訴訟、

コミュニティ・オーガナイズ、戦略的コミュニケーションを活用し、実用的な気候変動対策を提示し、変革のための運動を築くことを目指しています。